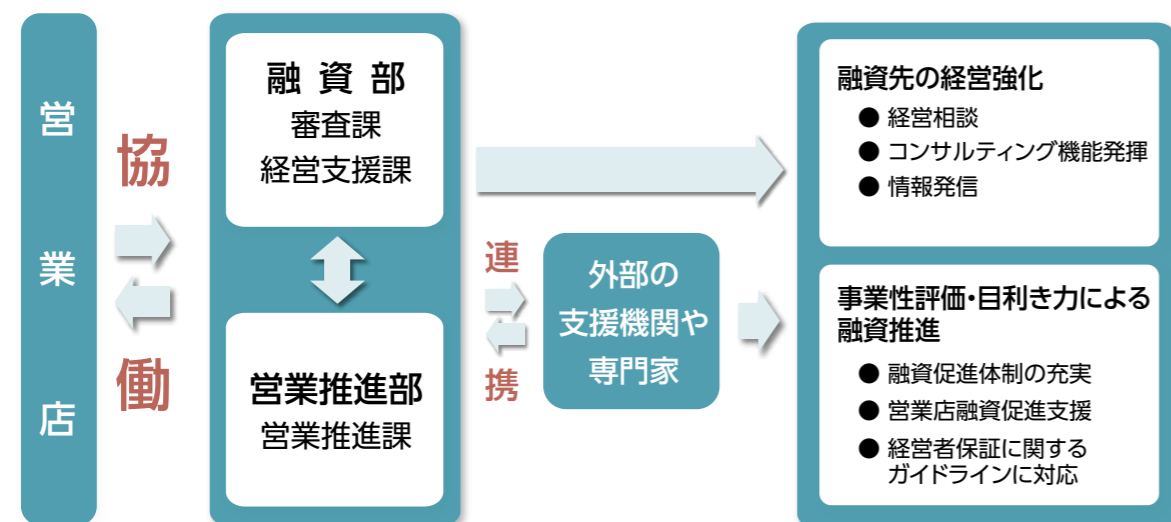


企業の活力を支援する取組み

当金庫では、企業経営のさまざまな課題について中小企業診断士がお客様からの相談内容に応じて、財務改善を中心とした経営診断、経営計画等の策定などのお手伝いをいたします。また、信用保証協会、政府系金融機関や地元商工会と協調し、お客様と強固な信頼関係を構築いたします。より専門的な支援として、地域経済活性化支援機構や中小企業再生支援協議会とも連携し、再生支援を行います。



経営相談・経営支援

お取引先に専任の中小企業診断士が財務指導や経営相談を行い、事業者様のご要望にお応えしています。

平成 29 年度の取組み状況について「中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況」

平成29年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たすため、次のことを重点施策として中小企業の経営支援、地域経済活性化への貢献に積極的に取組みました。

また、平成 28 年 9 月に金融庁から金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標として「金融仲介機能のベンチマーク」が公表され、当庫の取組みの自主点検、自主評価のためにベンチマーク指標を活用しています。

中小企業向け融資

全取引先数 (単位：社)		割合	メイン取引先数 (単位：社)	
4,050	うちメイン先	64.5%	2,613	うち経営指標等が改善した先
				458
全取引先残高 (単位：億円)		割合	メイン取引先残高 (単位：億円)	
981	うちメイン先	74.2%	728	うち経営指標等が改善した先
	うち保証協会付	24.6%		182
	うち 100%保証協会付	5.9%		

メイン先とは

- ①借入金（役員借入金除く）のシェアが取引金融機関の中で主力である。
 - ②売上金の入金、また決済資金のメイン取引がある。
 - ③取引状況も一定のシェアがあり、経営指導等の関係構築が他行よりも強固である
- ①②③を総合的に判断して決定しています。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

ライフステージ別の与信先数、融資残高

(単位：社、億円)		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	平成 29 年度末	4,050	189	243	1,904	116	747
	平成 28 年度末	4,059	175	265	1,791	98	813
融資残高	平成 29 年度末	981	45	77	475	19	311
	平成 28 年度末	969	44	84	445	18	325

全与信先の中で、過去 5 期の売上高を把握できる先で区分しています。

- 創業期…創業、第二創業から 5 年まで
- 成長期…売上平均で直近 2 期が過去 5 期の 120%超
- 安定期…売上平均で直近 2 期が過去 5 期の 120%～80%
- 低迷期…売上平均で直近 2 期が過去 5 期の 80%未満
- 再生期…貸付条件の変更または延滞がある期間

- ① お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。企業のライフステージや事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。<経営支援先として 40 先を選定、うち新規改善支援取組み 8 先、改善計画策定 3 先>。

- ② 外部機関と連携したより専門的な支援を行いました。

(単位：社)	平成 28 年度	平成 29 年度
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	7	21

- ・経営改善事業（中小企業再生支援協議会の計画策定 3 件、兵庫県経営改善支援センターの計画策定 11 件、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議 1 件 など）
- ・専門家派遣事業 専門家派遣 12 件（兵庫県信用保証協会、中小企業庁ミラサポ、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点 など）

- ③ 企業のライフステージを見極め、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。

(単位：社)	平成 28 年度	平成 29 年度
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	23	43
取引先の本業支援のため、他の金融機関と提携・連携した先数	3	3
取引先の本業支援のため、政府系金融機関と提携・連携した先数	32	33

●創業・新規事業開拓の支援

- ・事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。<創業・新事業融資 36 件 286 百万円>
- ・日本政策金融公庫と連携した開業支援を行いました。<創業関連 8 件 113 百万円>

		平成 28 年度	平成 29 年度
当庫が関与した創業件数 (単位：件)		24	32
当庫が関与した第二創業件数 (単位：件)		2	7
創業支援先数 (単位：社)	創業計画の策定支援	2	3
	創業期の取引先への融資	22	42
		うち プロパー融資	10
	うち 信用保証付き融資	12	22

●成長段階における支援

- ・融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。<設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 354 件 5,926 百万円>
- ・新たな販路の獲得の支援を行いました。[川上・川下ビジネスネットワーク事業] 新たに 11 社の調査依頼を受付。
- ・日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。<成長関連 47 件 656 百万円>
- ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」「各地公体等の補助金」等の申請に関与し、手続きの支援や資金調達のアドバイスを行いました。<補助金等交付 34 件 209 百万円><協調した融資 22 件 282 百万円>
- ・事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。

● なかしん個別商談会開催 ●



平成 29 年 11 月 24 日に第 5 回「なかしん個別商談会」を三田ホテルで開催しました。バイヤー 7 社、地元企業 16 社が参加、延べ 47 件の商談が行われ、成約 3 件、共同開発 1 件、5 件が商談継続中です。バイヤーの各ブースに参加事業所が訪れ、1 コマ約 30 分で自社商品の特徴などを説明しアピールしました。また、バイヤーは試食しながら素材や製法などについて質問する場面もありました。今後も、地元事業者が地元食材を利用した魅力あふれる商品を紹介することで地域内外に広く情報発信を行い、意欲的に販売開拓に取り組むことを目的として個別商談会を計画していきます。今回、参加企業の中から 2 社を紹介いたします。

甲北食品工業(株) 三木市

同社は、昭和39年創業以来永年の経験と技術を活かし、自然に恵まれた環境の中で心を込めて佃煮の製造・販売をしています。「松茸昆布」は山海の珍味を丹念に炊き上げている同社のロングセラー商品であり、今回の商談会で1社と契約できました。



(株)豆畑 篠山市

凝ったお菓子ではなく「おやつ的なお菓子」をコンセプトに、篠山の豊富な食材を活かし、目に見えないところで創意工夫・鋭意努力し「お客様に良いと思ってもらえる商品」作りを心がけています。



● 経営改善・事業再生、条件変更等の支援

- 改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。
- 貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。<円滑化関連 118 件 1,913 百万円>
- 中小企業者の債務者区分ランクアップ実績 40 先 (うち、集中的に支援を行っている経営支援先 2 先)
- 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

● 経営支援等の取組み実績 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

(単位：先数)

(単位：%)

	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組み先数 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数			経営改善支援取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
			αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ			
正常先 ①	3,378	8	7	0	0.2	—	0.0	
要注意先	うちその他要注意先 ②	410	15	1	12	3.7	6.7	33.3
	うち要管理先 ③	40	10	1	7	25.0	10.0	100.0
破綻懸念先 ④	106	7	0	6	6.6	0.0	71.4	
実質破綻先 ⑤	88	0	0	0	0.0	—	—	
破綻先 ⑥	37	0	0	0	0.0	—	—	
小計 (②～⑥の計)	681	32	2	25	4.7	6.3	62.5	
合計	4,059	40	2	32	1.0	5.0	50.0	

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。

※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

● 事業承継への支援

- ・信金中央金庫 中小企業支援部による職員向け勉強会を行いました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取り組ましました。

● 地域の各種団体等との連携

地元の地公体や商工会等と連携した会議等にも積極的に参加しました。

● 北近畿中小企業支援連絡会議への参加

北近畿の金融機関が連携して取引先の円滑化支援を行う仕組みに参画し、協調改善に向けた情報交換を定期的に行うと共に、お取引先向け経営戦略セミナー(福知山会場、豊岡会場)も開催しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。

● NBC (なかしんビジネスクラブ) の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行いました。

- ◇新人若手社員研修 テーマ：「社会人としての意識改革・行動改革」 講師：(株)タナベ経営
- ◇経営セミナー テーマ：「経済小説に経済の“いま”を読む」 講師：幸田真音氏
- ◇経営セミナー テーマ：「今後の景気見通しと経済成長を軌道に乗せるキーポイント」 講師：中野雅至氏



新人若手社員研修



経営セミナー



経営セミナー

- 第 19 回なかしんふるさと賞「商工業、伝統工芸・文化、スポーツ、ボランティア部門」において、地域に貢献され活躍されている 12 の団体・個人を顕彰し地域に紹介しました。
- なかしん年金友の会「わくわく倶楽部」の優待サービス提携施設を充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
- 地域景気動向調査を定期的(年4回)に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
- CS(顧客満足度)アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。<CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500 先、うち回答数 655 先>



なかしんふるさと賞



わくわく倶楽部



景況レポート



CS アンケート

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、平成 29 年度に当金庫において、新規に無担保・無保証で融資をした件数は 18 件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は 0.76%、保証契約を解除した件数は 4 件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り）は 0 件です。

中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針

当金庫は、相互扶助の理念の下、地域の中小企業者の方や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。

1. 地域の中小企業者の方や個人のお客様の実態把握等を十分行い、必要で安定した資金を円滑に供給していくことが、地域金融機関の最も重要な役割であると考え、積極的な金融仲介機能を発揮していきます。
2. 事業資金や住宅資金を借入されているお客様から、条件変更等について相談や申出があった場合には、その要請を真摯に受け止め、抱えておられる課題解決に向けてきめ細かな対応を行います。
3. 経営相談や経営再建計画の要請等に対しても、十分な話し合いを行い、お客様と一体となって事業等についての改善や再生のための経営支援に取組みます。
4. お客様からの申出について、他業態も含め関係する他の金融機関等がある場合には、他の金融機関等と緊密な連携を図りながら、地域金融の円滑化に努めます。
5. 金融円滑化に関する取組みがより適切で有効に機能するように、組織的な管理体制や職員に対する研修・指導等についても、適宜見直しや改善をはかります。

金融円滑化への取組みについて

中小企業者の方や住宅ローンをご利用のお客様からのご相談に幅広くお応えし、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めています。

1. 金融円滑化管理に関する方針

当金庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取組むことは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切にリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮していきます。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を把握するための体制

借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応しています。

金融円滑化管理体制

- ◇総括責任者…………… 理事長
- ◇管理責任者…………… 融資部担当役員
- ◇営業店責任者…………… 支店長
- ◇営業店相談窓口担当者…………… 各支店融資担当役員
- ◇経営支援・苦情相談窓口…………… 融資部経営支援課担当者

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うための体制

借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うため各営業店においては、「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、本部においては、「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、借入れ条件の変更等に係るお客様からの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

4. 中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制

中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、経営相談や経営指導の専任部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客様の経営の改善や事業再生の支援を行います。

地域のみなさまとのふれあい

地域行事への参加

平成 29 年度もなかしんでは多くの職員が地域の夏祭りをはじめさまざまなイベントに参加させていただきました。これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていきます。



愛宕祭



デカンショ祭り



三田まつり



ふるさと柏原夏まつり



水分れまつり



丹波もみじの里ハーフマラソン



織田まつり



やすらぎ園納涼祭



成松蛭子神社の福娘で“商売繁盛”



城東味まつり

第22回 なかしん年金友の会 親睦旅行

毎年好評をいただいております年金友の会親睦旅行「いい湯いい宿 和倉温泉 加賀屋に泊まる 1泊2日の旅」を企画し、平成30年5月に5班に分け行きました。271名の会員様にご参加をいただき、親睦を深めることができました。

日時：平成30年5月10日～25日



加賀屋



兼六園

婦人友の会

毎年好評をいただいております婦人友の会親睦旅行。平成29年度は「琵琶湖周遊貸切船ビアンカクルーズと京都御所参観の旅～貸切船ビアンカ内にて、フリーアナウンサー桑原征平氏のトークショー～」を企画し多くの会員様にご参加をいただきました。天候に恵まれ、桑原征平氏のトークショーで爆笑していただき、紅葉の中の散策を楽しんでいただきました。



琵琶湖周遊貸切船ビアンカクルーズ



京都御所参観

第14回 なかしん理事長杯争奪囲碁大会

丹波市内の店舗合同で囲碁大会を開催いたしました。67名の愛好家が盤上で熱戦を繰り広げられました。

日時：平成30年3月21日

会場：中兵庫信用金庫 丹波本部 大会議室



なかしん杯ゲートボール大会

第29回となる西脇市・多可町エリアでの大会は12チーム64名が参加され、日頃の練習の成果を存分に発揮されました。

日時：平成29年6月23日

会場：黒田庄グラウンド専用ゲートボール場



第28回となる三田市エリアでの大会は8チーム40名が参加され、プレーされる姿に元気をいただきました。

日時：平成29年11月16日

会場：三田市青野ダム末野運動公園



第36回 なかしん理事長杯職域対抗テニス大会

丹波市内の各職域の在勤者を対象にテニス大会を開催しました。16チーム119名の参加があり、クラス別の熱戦が繰り広げられました。

日時：平成29年6月11日

会場：丹波の森公園テニスコート



文化活動への取組み

なかしんふるさと賞

平成11年より当金庫の営業地域において商工業、伝統工芸・文化、スポーツ、ボランティア活動などの分野で地道に努力され、地域の活性化や発展に貢献された方を顕彰しています。平成29年度は12の個人や団体の方々が受賞されました。

日時：平成29年10月25日

会場：三田ホテル



新春講演会

「夢持ち続け日々精進」と題し、高田明氏のこれまでの貴重な経験から、目の前のことに一生懸命に取り組む、今を生きることの大切さについてユーモアを交えて講演していただきました。

日時：平成30年1月28日(日)

場所：三田市 郷の音ホール

講師：高田 明氏



あいさつ

目次・方針・理念

業績ハイライト

なかしんと地域社会

業務のご案内

資料編

ネットワーク

あいさつ

目次・方針・理念

業績ハイライト

なかしんと地域社会

業務のご案内

資料編

ネットワーク

信用金庫の日の活動

交通立番

平成29年度も定期的に通学路の交差点で子どもたちの安全確保のため交通立番を行いました。



清掃活動

地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて全店で一斉に店舗周辺、公共施設等の清掃活動を行いました。



ロビー展

定期的に地域の団体や個人の方々の作品を各支店のロビーに展示させていただきました。



献血

地域貢献活動の一環として丹波本部・三田本部において献血を行いました。



トピックス!

2017 ひょうご信用創生アワード

兵庫県地域支援金融会議が主催する『2017 ひょうご信用創生アワード』が平成29年11月21日に開催され、有限会社玉木新雌様が『成長部門』の最優秀事例として受賞されました。



若鮎募金

役職員の誰もが気軽に参加できる地域社会貢献活動として、昨年4月より毎月100円、地域社会を担っていく子供たちの育成の一助を目的に募金を始めました。第一回目として4月13日、平成29年度中に集まった募金額41万9千円を丹波市に寄付しました。



県警感謝状

特殊詐欺被害防止に向けた取り組みとして被害にしやすい対象者に絞った現金自動預払機(ATM)の利用制限導入に対して感謝状をいただきました。
平成29年10月13日
兵庫県警察本部



特殊詐欺被害防止の取り組み

篠山支店で高額の現金を引き出そうとされた高齢のお客様さまに対し、職員の対応と警察との連携により特殊詐欺被害を未然に防止することができ、篠山警察署より感謝状をいただきました。



防犯チラシ等を配布して特殊詐欺被害防止を呼び掛けるキャンペーンを実施しました。

トライやる・ウィークの受け入れ

中学生の体験活動週間「トライやる・ウィーク」の趣旨に賛同し、各営業店で中学生の受入を行い、当金庫の業務を体験していただきました。



なかしんからのお知らせ

ウッディタウン支店は土曜・日曜日も営業しています。

ウッディタウン支店は、土曜・日曜日も休まず営業しており、より親しみの持てる明るい店舗と職員の爽やかな笑顔で皆様のご来店をお待ちしております。当支店では、大通りに面して「まちかど広場」を設け、広場と連続するように設けたコミュニティーサロンを地域の交流の場として提供しています。

平日(営業時間 9:00～15:00まで)
土・日(営業時間 10:00～16:00まで)
(但し年末年始・祝日は除く)



広報誌「ふれあいの発行」

身近な話題や情報を掲載した広報誌を定期的に発行しております(年4回 春・夏・秋・冬)



いあいさつ
目次・方針・理念
業績ハイライト
なかしんと地域社会
業務のご案内
資料編
ネットワーク

いあいさつ
目次・方針・理念
業績ハイライト
なかしんと地域社会
業務のご案内
資料編
ネットワーク